

令和8年度 通信教育実施計画												
学年	学期	コース	教科				科目			単位数		
1	後期	週4・2日	地理歴史				地理総合			2		
教科書												
地理総合（東京書籍）												
学習目標												
地図や統計などを活用して情報を読み解き、多様な地域の理解を深める。また、様々な地域や地球環境について学ぶことで、地域や環境の特徴を多面的・多角的に捉える力を育てる。												
添削課題	回数	ℳ切	学習のねらい、内容など								備考 教科書ページ等	
	第1回	11/12	第1編 地図や情報システムでとらえる現代社会 地図、GIS、統計資料、グラフなどを活用して情報を読み解いたり、比較・分析する技能を身につける。								P7～52	
	第2回	11/12	第2編 第1章 人々の生活文化と多様な地理的環境 日本と世界の地域の特色を比較しながら、文化、自然、産業、生活様式の多様性や共通性を理解する。								P53～101	
	第3回	11/12	地域の特色を理解し、持続可能な観光や文化や自然を活かした都市の発展を考える。								教科書全ページ	
	第4回	2/2	第2編 第2章 さまざまな地球的課題と国際協力 地球的課題（気候変動・資源・人口問題など）や地域的課題（災害・少子高齢化など）に関心をもち、持続可能な社会づくりに主体的に関わりようとする態度を養う。								P117～172	
	第5回	2/2	第3編 持続可能な地域づくりと私たち 自然災害について学ぶことで、地理的仕組みを理解し、自ら進んで行動する防災意識を育む。								P173～204	
	第6回	2/2	SDGsや防災について学ぶことで、主体的に考え課題解決に向けた思考力・判断力・表現力を養う。								教科書全ページ	
面接指導日	クラス	1組	2組	3組	4組	5組	6組	7組	8組			
	第1回	10/5	10/5	10/1	10/1	10/1	10/1	10/1	10/2			
		学習の進め方、添削課題の取り組み（進捗状況の確認）、試験の取り組み方について										
第2回	11/18	11/18	11/16	11/18	11/18	11/17	11/17	11/17				
	添削課題の取り組み（進捗状況の確認）、試験の取り組み方について											
単位認定試験			評価方法									
中間・期末 試験あり (試験範囲、時間割は事前発表)			試験、添削課題、他提出物や平素の学習態度などを総合的に判断し、5段階評価する。なお、観点別評価について<知識・技能>試験、添削課題など<思考力・判断力・表現力>試験、添削課題など<主体的に学習に取り組む態度>学習に取り組み、ノートや各種成果物を総合的に評価する。									

中間・期末
試験あり
(試験範囲、時間割は事前
発表)

令和8年度 通信教育実施計画

学年	学期	コース	教科	科目	単位数
1	後期	週4日	数学	数学Ⅰ	2

教科書

【改訂版】新数学Ⅰ（東京書籍）

學習目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- 数学的な見方、考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
- (1) 図形と計量、2次関数についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
 - (2) 図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付け考察する力を養う。
 - (3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

備考
 教科書ページ等
 教科書P92～P97
 【知識・技能】
 教科書P98～P101
 【思考・判断・表現力】
 教科書P106～P113
 【知識・技能】
 【主体的に学習に取り組む態度】
 教科書P114～P117
 【知識・技能】
 教科書P118～P121
 【思考・判断・表現力】
 教科書P122～P125
 教科書P150～P153
 【知識・技能】

添削課題	回数	ℳ切	学習のねらい、内容など							備考
	第1回	11月12日	2章 2次関数 2節 2次関数の最大値・最小値 1 2次関数の最大値・最小値 2 2次関数のグラフと2次方程式							教科書P92～P97 【知識・技能】
	第2回	11月12日	3 2次関数のグラフと2次不等式 4 いろいろな2次不等式							教科書P98～P101 【思考・判断・表現力】
	第3回	11月12日	3章 三角比 1節 鋭角の三角比 2 タンジェント 3 サインとコサイン 4 三角比の利用 第1回～第3回の【主体的に学習に取り組む態度】を評価する問題							教科書P106～P113 【知識・技能】 【主体的に学習に取り組む態度】
	第4回	2月2日	5 三角比の相互関係 6 90°－Aの三角比 2節 三角比の応用 1 三角比の面積							教科書P114～P117 【知識・技能】
	第5回	2月2日	2 正弦定理 3 余弦定理							教科書P118～P121 【思考・判断・表現力】
第6回	2月2日	4 鈍角の三角比 5 三角比の相互関係 5章 集合と論証 1節 集合と論量 1 集合							教科書P122～P125 教科書P150～P153 【知識・技能】	
面接指導日	クラス	1組	2組	3組	4組	5組	6組	7組	8組	
	第1回	10月6日	10月1日	10月5日	10月5日	10月5日	10月5日	10月1日		
	評価方法についての説明、添削課題第1回～第3回の学習方法									
第2回	11月18日	11月18日	11月18日	11月18日	11月18日	11月18日	11月18日	11月18日		
中間試験の学習方法										
単位認定試験			評価方法							
中間(11月)・期末(2月) 試験あり (試験範囲、時間割は2週間前に発表)			試験、添削課題、他提出物や平素の学習態度などを総合的に判断し、5段階評価する。なお、観点別評価について <知識技能>試験、添削課題 <思考力・判断力・表現力>試験、添削課題 <主体的に学習に取り組む態度>添削課題、ノート・ワーク提出で評価する							

令和8年度 通信教育実施計画

学年	学期	コース	教科	科目	単位数
1	後期	週2日	数学	数学Ⅰ	2

教科書

【改訂版】新数学Ⅰ（東京書籍）

学習目標

・数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 図形と計量、2次関数についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- (2) 図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力を養う。
- (3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

添削課題	回数	日次	学習のねらい、内容など	備考 教科書ページ等
	第1回	11月12日	2章 2次関数 1節 2次関数とそのグラフ 1 関数 2 1次関数とそのグラフ 3 2次関数とそのグラフ	教科書P74～P81 【知識・技能】
	第2回	11月12日	4 グラフの平行移動	教科書P82～P85 【知識・技能】
	第3回	11月12日	5 $y=ax^2+bx+c$ のグラフ 2節 2次関数の値の変化 1 2次関数の最大値・最小値	教科書P86～P87 教科書P92～P95 【知識・技能】
	第4回	2月2日	3章 三角比 1節 鋭角の三角比 2 タンジェント 3 サインとコサイン 4 三角比の利用	教科書P106～P110 【知識・技能】
	第5回	2月2日	4 三角比の利用	教科書P110～P113 【思考・判断・表現力】
	第6回	2月2日	5 三角比の相互関係 6 $90^\circ - A$ 2節 三角比の応用 1 三角形の面積 4 鈍角の三角比 5 三角比の相互関係 6 鈍角の三角比の利用 第1回～第5回の【主体的に学習に取り組む態度】を評価する問題	教科書P114～P117 教科書P122～P126 【知識・技能】 【主体的に学習に取り組む態度】

面接指導日	クラス	1組	2組	3組	4組	5組	6組	7組	8組
	第1回								10月2日
	第2回								11月17日

評価方法についての説明、添削課題第1回～第3回の学習方法

中間試験の学習方法

単位認定試験	評価方法
中間(11月)・期末(2月) 試験あり (試験範囲、時間割は2週間前に発表)	試験、添削課題、他提出物や平素の学習態度などを総合的に判断し、5段階評価する。なお、観点別評価について <知識技能>試験、添削課題 <思考力・判断力・表現力>試験、添削課題 <主体的に学習に取り組む態度>添削課題、ノート・ワーク提出で評価する

令和8年度 通信教育実施計画												
学年		学期		コース		教科			科目		単位数	
1		前期		週 4		保健体育			体育		2	
教科書												
現代高等保健体育（大修館書店）												
学習目標												
体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習 過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成することを目指す。												
(1)各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。												
(2)運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。												
(3)生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。												
添削課題	回数	日付	学習のねらい、内容など								備考 教科書ページ等	
	第1回	11月12日	スポーツが経済に及ぼす効果								P148～149	
	第2回	11月12日	スポーツと環境								P154～156	
面接指導日	クラス	1組	2組	3組	4組	5組	6組	7組				
	第1回	10/6(火)	10/6(火)	10/7(水)	10/6(火)	10/6(火)	10/6(火)	10/7(水)		1体育の心得 2 単位について（シラバス） 3 体育時の服装について 4 体育授業についてのルール 5 レポート		
	第2回	10/13(火)	10/13(火)	10/14(水)	10/13(火)	10/13(火)	10/13(火)	10/14(水)		陸上競技【長距離】		
	第3回	10/20(火)	10/20(火)	10/21(水)	10/20(火)	10/20(火)	10/20(火)	10/21(水)		陸上競技【長距離】		
	第4回	10/27(火)	10/27(火)	10/28(水)	10/27(火)	10/27(火)	10/27(火)	10/28(水)		陸上競技【長距離】		
	第5回	11/4(水)	11/4(水)	11/4(水)	11/10(火)	11/10(火)	11/10(火)	11/11(水)		陸上競技【長距離】		
	第6回	11/4(水)	11/4(水)	11/4(水)	11/17(火)	11/17(火)	11/17(火)	11/18(水)		陸上競技【長距離】計測		
	第7回	11/4(水)	11/4(水)	11/4(水)	11/24(火)	11/24(火)	11/24(火)	11/27(金)		マット運動		
	第8回	11/10(火)	11/10(火)	11/11(水)	11/25(水)	11/25(水)	11/27(金)	11/27(金)		マット運動		
	第9回	11/17(火)	11/17(火)	11/18(水)	11/25(水)	11/25(水)	11/27(金)	11/27(金)		マット運動		
第10回	11/24(火)	11/24(火)	12/2(水)	11/25(水)	11/25(水)	11/27(金)	12/2(水)		マット運動			
単位認定試験				評価方法								
				添削課題や面接指導日の学習態度（意欲、身だしなみなど）、授業内の試技を総合的に判断し、5段階評価する。なお、観点別評価についても添削課題および平常点における各観点の到達度から評価する。 【実技評価】 ・陸上競技については長距離走のタイム ・マット運動については倒立前転からの連続技								

令和8年度 通信教育実施計画												
学年		学期		コース		教科		科目		単位数		
1		前期		週2日		保健体育		体育		2		
教科書												
現代高等保健体育（大修館書店）												
学習目標												
体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習 過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成することを目指す。												
(1)各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。												
(2)運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。												
(3)生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。												
添削課題	回数	日次	学習のねらい、内容など								備考 教科書ページ等	
	第1回	11月12日	スポーツが経済に及ぼす効果								P148～149	
	第2回	11月12日	スポーツと環境								P154～156	
面接指導日	クラス	8組										
	第1回	10/9(金)										
		体づくり運動										
	第2回	10/9(金)										
		体づくり運動										
	第3回	10/9(金)										
		体づくり運動										
	第4回	10/22(木)										
		レポートの登録、進め方										
	第5回	10/22(木)										
		陸上競技【長距離】										
	第6回	10/22(木)										
		陸上競技【長距離】										
	第7回	11/5(木)										
		陸上競技【長距離】計測										
	第8回	11/5(木)										
球技（ネット型）												
第9回	11/5(木)											
	球技（ネット型）											
第10回	11/25(水)											
	陸上競技【長距離】シャトルラン											
単位認定試験			評価方法									
			添削課題や面接指導日の学習態度（意欲、身だしなみなど）、授業内の試技を総合的に判断し、5段階評価する。なお、観点別評価についても添削課題および平常点における各観点の到達度から評価する。 【実技評価】 ・陸上競技については長距離走のタイム ・マット運動については倒立前転からの連続技									

令和8年度 通信教育実施計画											
学年		学期		コース		教科			科目		単位数
1		後期		週4・2日		外国語			英語コミュニケーションⅠ		2
教科書											
All Aboard!! English Communication Ⅰ Revised（東京書籍）											
学習目標											
日常的・社会的な話題について、多くの支援を活用すれば、 1. 必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 2. 必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 3. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。 4. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。											
添削課題	回数	ページ	学習のねらい、内容など							備考 教科書ページ等	
	第1回	11/12	Lesson 5,8の新出単語、語句を理解する							Lesson 5 Lesson 8	
	第2回	11/12	動名詞〈動詞の-ing形〉を用いた文の形・意味・用法を理解している。また、本文を読み「空気エンジン」を開発するユニークな工業高校の活動について理解している。							Lesson 5 Lesson 8	
	第3回	11/12	「動名詞」を用いた文の形・意味・用法を理解し、指示された英作文を作成する。							Lesson 5 Lesson 8	
	第4回	2/2	Lesson 9の新出単語、語句を理解する							Lesson 9 Lesson 6(文法)	
	第5回	2/2	受け身（be動詞＋過去分詞）、〈名詞を後ろから説明する分詞〉を用いた文の形・意味・用法を理解している。また、ゴーストギアについて学んだ内容や、地域の環境問題とそれに対する取り組みについて理解している。							Lesson 9 Lesson 6(文法)	
	第6回	2/2	受け身（be動詞＋過去分詞）、〈名詞を後ろから説明する分詞〉を用いた文の形・意味・用法を理解し、指示された英作文を作成する。							Lesson 9 Lesson 6(文法)	
面接指導日	クラス	1組	2組	3組	4組	5組	6組	7組	8組		
	第1回	10/1	10/1	10/5	10/5	10/1	10/1	10/5	10/6		
		音読指導・単語・熟語確認。本文読解。文法指導等									
	第2回	10/1	10/5	10/6	10/6	10/5	10/5	10/6	10/6		
		音読指導・単語・熟語確認。本文読解。文法指導等									
	第3回	10/5	10/6	10/7	10/7	10/6	10/7	10/7	10/13		
		音読指導・単語・熟語確認。本文読解。文法指導等									
	第4回	10/8	10/8	10/13	10/13	10/8	10/8	10/13	10/13		
		音読指導・単語・熟語確認。本文読解。文法指導等									
	第5回	10/14	10/13	10/14	10/14	10/13	10/14	10/14	10/20		
		音読指導・単語・熟語確認。本文読解。文法指導等									
	第6回	10/19	10/19	10/19	10/19	10/19	10/19	10/19	10/20		
		音読指導・単語・熟語確認。本文読解。文法指導等									
	第7回	10/21	10/20	10/20	10/20	10/20	10/21	10/20	10/27		
		音読指導・単語・熟語確認。本文読解。文法指導等									
	第8回	11/18	11/17	11/18	11/18	11/17	11/18	11/18	11/17		
音読指導・単語・熟語確認。本文読解。文法指導等											
単位認定試験			評価方法								
中間(11月)・期末(2月) 試験あり (試験範囲、時間割は2週間前に発表)			試験、音読、添削課題、他提出物や平素の学習態度などを総合的に判断し、5段階評価する。なお、観点別評価について<知識技能>試験、添削課題、音読など<思考力・判断力・表現力>試験、添削課題にある＋α問題など<主体的に学習に取り組む態度>学習に取り組む、ノートやワークブック、各種成果物を総合的に評価								

令和8年度 通信教育実施計画											
学年	学期	コース	教科				科目	単位数			
1	後期	週4・2日	情報				情報Ⅰ	2			
教科書											
新編情報Ⅰ（東京書籍）											
学習目標											
情報に関する科学的な見方・考え方を重視し、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用するための知識および技能を身に付け、実際に活用する力を養うとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。											
添削課題	回数	日次	学習のねらい、内容など							備考 教科書ページ等	
	第1回	11月12日	情報の特性やメディアの特徴、問題解決における情報技術の活用を学ぶ。情報社会のモラルや法規、個人情報の扱い、SNSの危険性を理解し、著作権や引用のルールを習得。さらに、新しい情報技術の進展やサイバー犯罪、健康への影響について学習する。							pp.8-27	
	第2回	11月12日	メディアの変遷や特性、ソーシャルメディアやネットコミュニケーションの特徴を学ぶ。デジタルデータの仕組みやメリット・デメリット、情報のデジタル表現や圧縮を理解する。情報デザインやユニバーサルデザイン、ユーザインタフェースについて学習する。							pp.36-55	
	第3回	2月2日	コンピュータの基本構成やハードウェア・ソフトウェアの仕組みを理解し、演算や処理回路について学ぶ。さらに、アルゴリズムの必要性や表現方法、プログラムの作成や制御構造について学習する。							pp.64-83	
	第4回	2月2日	情報通信ネットワークの基礎、プロトコル（TCP/IP）を学ぶ。ネットワークハードウェアやサーバ、IPアドレス、DNSの役割を理解し、インターネットやWWW、電子メールについて学習する。さらに、情報セキュリティの確保方法やデータ・データベースの役割と活用例を学ぶ。							pp.92-111	
面接指導日	クラス	1組	2組	3組	4組	5組	6組	7組	8組		
	第1回	10月5日	10月5日	10月1日	10月1日	10月5日	10月5日	10月5日	10月6日		
		学習の進め方、添削課題の取り組み、試験の取り組み方について									
	第2回	10月6日	10月6日	10月6日	10月5日	10月7日	10月7日	10月6日	10月13日		
		学習の進め方、添削課題の取り組み、試験の取り組み方について									
	第3回	10月13日	10月13日	10月8日	10月8日	10月14日	10月14日	10月13日	10月20日		
		学習の進め方、添削課題の取り組み、試験の取り組み方について									
第4回	11月17日	11月17日	11月17日	11月16日	11月18日	11月18日	11月17日	11月17日			
	学習の進め方、添削課題の取り組み、試験の取り組み方について										
単位認定試験			評価方法								
なし			添削課題や面接指導日・学習支援日の学習態度などを総合的に判断し、5段階評価する。なお、観点別評価については添削課題における各観点の到達度や任意課題から評価する。								

令和8年度 通信教育実施計画												
学年	学期	コース	教科					科目	単位数			
2	後期	週4・2日	国語					言語文化	2			
教科書												
高等学校 言語文化（第一学習社）												
学習目標												
(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。(2) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。												
添削課題	回数	締切	学習のねらい、内容など							備考 教科書ページ等		
	第1回	11/12	児のそら寝 古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを知る。							教科書12～13		
	第2回	11/12	伊勢物語 東下り① 話の中で和歌が果たしている役割を押さえ、歌物語の特徴と読み解き方を理解する。							教科書28～30		
	第3回	11/12	伊勢物語 東下り② 話の中で和歌が果たしている役割を押さえ、歌物語の特徴と読み解き方を理解する。							教科書28～30		
	第4回	2/2	狐借虎威 漢文の訓読に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来することを知る。							教科書164～165		
	第5回	2/2	先従隗始① 戦国時代を背景とした国の状況を知るとともに、郭隗が用いた論理の巧みさを読み解く。							教科書174～175		
	第6回	2/2	先従隗始② 戦国時代を背景とした国の状況を知るとともに、郭隗が用いた論理の巧みさを読み解く。							教科書174～175		
面接指導日	クラス	1組	2組	3組	4組	5組	6組	7組	8組			
	第1回	10月5日	10月1日	10月5日	10月5日	10月1日	10月5日	10月1日	10月2日			
	第2回	11月18日	11月18日	11月18日	11月18日	11月18日	11月18日	11月18日	11月16日			
		添削課題の取り組み（進捗状況の確認）、試験の取り組み方について										
単位認定試験			評価方法									
中間(11月)・期末(2月) 試験あり (試験範囲、時間割は2週間前に発表)			試験、小テスト、添削課題、他の提出物や平素の学習態度などを総合的に判断し、5段階評価する。なお、観点別評価について<知識・技能>試験、添削課題、小テストなど<思考力・判断力・表現力>試験、添削課題にある+α問題など<主体的に学習に取り組む態度>ノートや各種成果物を総合的に評価									

令和8年度 通信教育実施計画					
学年	学期	コース	教科	科目	単位数
2	後期	週4・2日	公民	公共	2

[illegible]

公共（東京書籍）

學習目標

社会の諸課題に関心を持ち、主体的に考え行動しようとする態度を育てる。また、情報を正確に読み取り、多面的・多角的に考え、他者と議論・協議しながら問題の解決に向けて思考を深める力を養う。個人の自由と社会のルールとの関係を理解し、公共の利益や正義を重視する倫理的態度や規範意識を身につける。

添削課題	回数	ページ	学習のねらい、内容など	備考 教科書ページ等
	第1回	11/12	内容：青年期、宗教、功利主義、生命倫理、環境倫理など 青年期の特徴を理解させ、青年期における自己形成の課題を考えさせる。現代の諸課題について、多角的な視野を持ち他者と共同で解決する能力を育む。	10 - 38
	第2回	11/12	内容：民主政治、地方自治、国会、内閣など 国会、内閣、裁判所などや選挙の制度、政党の役割などを学ぶことで、民主政治がどのように成り立ち、運営されているかを理解する。	39 - 85
	第3回	11/12	内容：第1回、第2回分の記述式 既習の内容について、総括的に振り返り、自分の意見や考えを確立する。また、持論について論理的に説明する能力を育む。	10 - 85
	第4回	2/2	内容：法と社会規範、市民生活と私法、国民の司法参加など 法の必要性や法の社会的意義を理解する。また裁判員制度などを通じ、主権者としての責任意識や法に基づく判断力を育てる。	86 - 115
	第5回	2/2	内容：市場経済、資本主義の歴史、金融、財政など 市場経済、金融、財政などのしくみや課題を学ぶことで、よりよい社会のあり方や政策について主体的に考え、意見を持つ力を養う。	116 - 151
	第6回	2/2	内容：第4回、第5回分の記述式 既習の内容について、総括的に振り返り、自分の意見や考えを確立する。また、持論について論理的に説明する能力を育む。	86 - 151

面接指導日	クラス	1組	2組	3組	4組	5組	6組	7組	8組	
	第1回	10/5	10/1	10/5	10/1	10/1	10/1	10/1	10/2	
		学習の進め方、添削課題の取り組み（進捗状況の確認）、試験の取り組み方について								
	第2回	11/18	11/18	11/17	11/17	11/18	11/17	11/17	11/16	
添削課題の取り組み（進捗状況の確認）、試験の取り組み方について										

単位認定試験	評価方法
中間・期末 試験あり (試験範囲、時間割は事前 発表)	試験、添削課題、他提出物や平素の学習態度などを総合的に判断し、5段階評価する。なお、観点別評価について<知識・技能>試験、添削課題など<思考力・判断力・表現力>試験、添削課題など<主体的に学習に取り組む態度>学習に取り組み、ノートや各種成果物を総合的に評価する。

令和 8 年度 通信教育実施計画

学年	学期	コース	教科	科目	単位数					
2	後期	週 4・週 2	理科	科学と人間生活	2					
教科書										
数研出版 改訂版 科学と人間生活 (104 数研 科人/104-901)										
学習目標										
・ 自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付ける。 ・ 観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて科学的に探究する力を養う。 ・ 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。										
添 削 課 題	回数	ページ	学習のねらい、内容など				備考 教科書ページ等			
	第 1 回	11/12	1 編 物質の科学 1 章 材料とその再利用 金属の性質とその再利用、プラスチックの性質とその再利用				P.14-41			
	第 2 回	11/12	2 編 生命の科学 2 章 微生物とその利用 身のまわりの微生物、生態系における微生物のはたらき、窒素と微生物のはたらき、水の浄化と微生物を用いた環境の浄化				P.92-115			
	第 3 回	11/12	3 編 光や熱の科学 1 章 光の性質とその利用 光の進み方とその基本的な性質、光の波としての性質、目に見える光と色の見え方、目に見えない光とその利用				P.116-139			
	第 4 回	2/2	3 編 光や熱の科学 2 章 熱の性質とその利用 原子や分子の熱運動、熱容量と比熱、熱の伝わり方、熱エネルギーから仕事への変換、エネルギーの利用と私たちの暮らし				P.140-163			
	第 5 回	2/2	4 編 宇宙や地球の科学 2 章 自然景観と自然災害 プレート運動と地表の景観、山地や低地のでき方、火山がつくる景観、地震による災害ほか自然災害と防災				P.188-211			
	第 6 回	2/2	4 編 宇宙や地球の科学 1 章 太陽と地球 太陽と月がもたらすリズム、太陽が動かす大気と水				P.164-187			
面 接 指 導 日	クラス	1 組	2 組	3 組	4 組	5 組	6 組	7 組	8 組	
	第 1 回	10/1	10/5	10/1	10/5	10/5	10/5	10/5	10/5	
		学習の進め方、添削課題の取り組み、試験の取り組み方について								
	第 2 回	10/5	10/6	10/5	10/6	10/6	10/5	10/6	10/5	
		添削課題の取り組み（進捗状況の確認）、添削課題の取り組み方についての確認								
	第 3 回	10/6	10/7	10/7	10/7	10/7	10/7	10/7	10/19	
		実験① アルコール発酵								
	第 4 回	10/8	10/13	10/8	10/13	10/13	10/14	10/13	10/19	
		実験① 振り振り								
	第 5 回	10/13	10/14	10/14	10/14	10/14	10/19	10/14	10/26	
		実験② 簡易分光器の作成								
	第 6 回	10/19	10/19	10/19	10/19	10/19	10/19	10/19	10/26	
実験③ 簡易分光器によるスペクトルの観察（連続スペクトル、線スペクトル）										
第 7 回	10/20	10/20	10/21	10/20	10/20	10/21	10/20	11/2		
	実験②、③振り振り									
第 8 回	11/17	11/18	11/18	11/18	11/18	11/18	11/18	11/16		
	試験の取り組み方について									
単位認定試験					評価方法					
中間(11 月)・期末 (2 月) 試験あり (試験範囲、時間割は 2 週間前に発表)					試験、添削課題、他提出物や実験への取り組み、平素の学習態度などを総合的に判断し 5 段階評価する。 知識技能：試験、添削課題 思考力・判断力・表現力：試験、添削課題にある α 問題など 主体的に学習に取り組む態度：実験への取り組みの様子、ノートや各種成果物を総合的に評価					

令和8年度 通信教育実施計画										
学年	学期	コース	教科					科目	単位数	
2	後期	週 4	保健体育					体育	2	
教科書										
現代高等保健体育（大修館書店）										
学習目標										
体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習 過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成することを目指す。 (1)各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。 (2)運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 (3)生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。										
添削課題	回数	日付	学習のねらい、内容など							備考 教科書ページ等
	第1回	11月12日	スポーツの技術と戦術							P160～163
	第2回	11月12日	技能の上達過程と練習							P164～167
面接指導日	クラス	1組	2組	3組	4組	5組	6組	7組		
	第1回	10/1(木)	10/1(木)	10/1(木)	10/7(水)	10/1(木)	10/1(木)	10/7(水)		
		1体育の心得 2 単位について（シラバス） 3 体育時の服装について 4 体育授業についてのルール 5 レポート								
	第2回	10/2(金)	10/2(金)	10/8(木)	10/14(水)	10/8(木)	10/8(木)	10/14(水)		
		陸上競技【長距離】								
	第3回	10/2(金)	10/2(金)	10/22(木)	10/21(水)	10/22(木)	10/22(木)	10/21(水)		
		陸上競技【長距離】								
	第4回	10/2(金)	10/2(金)	10/23(金)	10/23(金)	11/5(木)	11/5(木)	10/28(水)		
		陸上競技【長距離】								
	第5回	10/8(木)	10/8(木)	10/23(金)	10/23(金)	11/6(金)	11/6(金)	11/6(金)		
		陸上競技【長距離】								
	第6回	10/22(木)	10/22(木)	10/23(金)	10/23(金)	11/6(金)	11/6(金)	11/6(金)		
		陸上競技【長距離】計測								
第7回	11/5(木)	11/5(木)	11/5(木)	10/28(水)	11/6(金)	11/6(金)	11/6(金)			
	マット運動									
第8回	11/12(木)	11/12(木)	11/12(木)	11/11(水)	11/12(木)	11/12(木)	11/11(水)			
	マット運動									
第9回	11/26(木)	11/26(木)	11/26(木)	11/18(水)	11/26(木)	11/26(木)	11/18(水)			
	マット運動									
第10回	12/3(木)	12/3(木)	12/3(木)	12/2(水)	12/3(木)	12/3(木)	12/2(水)			
	マット運動									
単位認定試験			評価方法							
			添削課題や面接指導日の学習態度（意欲、身だしなみなど）、授業内の試技を総合的に判断し、5段階評価する。なお、観点別評価についても添削課題および平常点における各観点の到達度から評価する。 【実技評価】 ・陸上競技については長距離走のタイム ・マット運動については倒立前転からの連続技							

令和8年度 通信教育実施計画							
学年	学期	コース	教科		科目	単位数	
2	前期	週2日	保健体育		体育	2	
教科書							
現代高等保健体育（大修館書店）							
学習目標							
体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成することを目指す。 (1)各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。 (2)運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 (3)生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。							
添削課題	回数	日切	学習のねらい、内容など				備考 教科書ページ等
	第1回	11月12日	スポーツの技術と戦術				P160～163
	第2回	11月12日	技能の上達過程と練習				P164～167
面接指導日	クラス	8組					
	第1回	10/9(金)					
		体づくり運動					
	第2回	10/9(金)					
		体づくり運動					
	第3回	10/9(金)					
		体づくり運動					
	第4回	10/22(木)					
		レポートの登録、進め方					
	第5回	10/22(木)					
陸上競技【長距離】							
第6回	10/22(木)						
	陸上競技【長距離】						
第7回	11/5(木)						
	陸上競技【長距離】計測						
第8回	11/5(木)						
	球技（ネット型）						
第9回	11/5(木)						
	球技（ネット型）						
第10回	11/25(水)						
	陸上競技【長距離】シャトルラン						
単位認定試験			評価方法				
			添削課題や面接指導日の学習態度（意欲、身だしなみなど）、授業内の試技を総合的に判断し、5段階評価する。なお、観点別評価についても添削課題および平常点における各観点の到達度から評価する。 【実技評価】 ・陸上競技については長距離走のタイム ・マット運動については倒立前転からの連続技				

令和8年度 通信教育実施計画													
学年	学期	コース	教科					科目	単位数				
2	後期	週4・2日	家庭					家庭総合	2				
教科書													
高等学校 家庭総合 持続可能な未来をつくる（第一学習社）													
学習目標													
生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習を通して、様々な人々と協働し、よい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。（１）人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。（２）家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。（３）様々な人々と協働し、よい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。													
添削課題	回数	締切							学習のねらい、内容など			備考 教科書ページ等	
	第1回	11月12日		第5章 食生活をつくる 【知識・技能】							教科書p.83～p.148		
	第2回	11月12日		第8章 経済生活をつくる 【知識・技能】							教科書p.217～p.238		
	第3回	2月2日		第5・8章の内容（食生活・経済生活）の知識や技術を活用し問題解決や自己表現をする 【思考力・判断力・表現力】							教科書p.83～p.148 教科書p.217～p.238		
	第4回	2月2日		第7章の内容（衣生活）の知識技能を活かして実践する活動を行う 【主体的】							教科書p.149～p.194		
面接指導日	クラス	1組	2組	3組	4組	5組	6組	7組	8組				
	第1回	10月5日	10月5日	10月6日	10月1日	10月5日	10月6日	10月5日	10月5日				
		学習の進め方、添削課題の取り組み（進捗状況の確認）、試験の取り組み方について											
	第2回	10月7日	10月6日	10月7日	10月5日	10月6日	10月7日	10月6日	10月19日				
		添削課題の取り組み（進捗状況の確認）、試験の取り組み方について											
第3回	10月14日	10月13日	10月13日	10月8日	10月13日	10月13日	10月13日	10月26日					
	食物分野の学習のポイント、学習の進め方について（進捗状況の確認）												
第4回	11月18日	11月17日	11月18日	11月16日	11月17日	11月18日	11月17日	11月16日					
	食物分野の学習のポイント、学習の進め方について（進捗状況の確認）												
単位認定試験				評価方法									
中間(11月)・期末(2月) 試験あり (試験範囲、時間割は2週間前に発表)				試験、小テスト、添削課題、他提出物や平素の学習態度などを総合的に判断し、5段階評価する。なお、観点別評価について<知識技能>試験、添削課題、小テストなど<思考力・判断力・表現力>試験、添削課題にある+α問題など<主体的に学習に取り組み態度>学習に取り組み、ノートや各種成果物を総合的に評価									

令和8年度 通信教育実施計画												
学年	学期	コース	教科				科目			単位数		
3	後期	週4・2日	国語				文学国語			2		
教科書												
文学国語（大修館書店）												
学習目標												
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語や文化に対する理解を深めることを目指す。①深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。②言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。												
添削課題	回数	※切	学習のねらい、内容など							備考 教科書ページ等		
	第1回	11/12	十八歳の選択① 筆者の考えにもとづいた考えを読み取る。 自身の人生における「選択」について考える。							教科書12～19		
	第2回	11/12	十八歳の選択② 筆者の考えにもとづいた考えを読み取る。 自身の人生における「選択」について考える。							教科書12～19		
	第3回	11/12	離さない① 作者独特の言語感覚と物語の展開のしかたについて理解を深める。 登場人物の心理の動きを把握し、主題について深く考える。							教科書82～95		
	第4回	1/18	離さない② 作者独特の言語感覚と物語の展開のしかたについて理解を深める。 登場人物の心理の動きを把握し、主題について深く考える。							教科書82～95		
	第5回	1/18	陰翳礼讃① 日本文化についての感性豊かな言語表現を読み取る。 日本の伝統的な価値観やその変化について考える。							教科書300～307		
	第6回	1/18	陰翳礼讃② 日本文化についての感性豊かな言語表現を読み取る。 日本の伝統的な価値観やその変化について考える。							教科書300～307		
面接指導日	クラス	1組	2組	3組	4組	5組	6組	7組	8組			
	第1回	10月5日	10月5日	10月5日	10月5日	10月5日	10月1日	10月5日	10月2日	学習の進め方、添削課題の取り組み（進捗状況の確認）、試験の取り組み方について		
		第2回	11月18日	11月18日	11月17日	11月18日	11月17日	11月16日	11月18日		11月18日	
		添削課題の取り組み（進捗状況の確認）、試験の取り組み方について										
単位認定試験			評価方法									
中間(11月)・期末(1月) 試験あり (試験範囲、時間割は2週間前に発表)			試験、小テスト、添削課題、他の提出物や平素の学習態度などを総合的に判断し、5段階評価する。なお、観点別評価について<知識・技能>試験、添削課題、小テストなど<思考力・判断力・表現力>試験、添削課題にある+α問題など<主体的に学習に取り組む態度>ノートや各種成果物を総合的に評価									

中間(11月)・期末(1月)
試験あり
(試験範囲、時間割は2週間前に発表)

令和8年度 通信教育実施計画										
学年	学期	コース	教科				科目	単位数		
3	後期	週4・2日	数学				数学A	2		
教科書										
【改訂版】新数学A（東京書籍）										
学習目標										
数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (2) 不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を養う。 (3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。										
添削課題	回数	日次	学習のねらい、内容など							備考 教科書ページ等
	第1回	11月12日	1章 場合の数と確率 1節 場合の数 1 集合 2 集合の要素の個数 3 個数の数え方 4 和の法則と積の法則							P4～P11 【知識・技能】
	第2回	11月12日	5 順列 7 いろいろな順列 8 組合せ							P12～P13 P16～P19 【知識・技能】
	第3回	11月12日	6 順列の利用 9 組合せの利用							P14～P15 P20～P21 【思考・判断・表現力】
	第4回	1月18日	2節 確率 1 事象と確率 2 確率の計算 3 排反事象の確率 4 余事象の確率							P22～P29 【知識・技能】
	第5回	1月18日	5 独立試行の確率 6 反復試行の確率 7 条件つき確率							P30～P35 【思考・判断・表現力】
	第6回	1月18日	8 期待値 第4回復習							P22～P29 P36～P37 【知識・技能】 （主体的に学習に取り組む態度）
面接指導日	クラス	1組	2組	3組	4組	5組	6組	7組	8組	
	第1回	10月1日	10月1日	10月1日	10月5日	10月1日	10月1日	10月1日	10月2日	
	第2回	11月18日	11月18日	11月18日	11月18日	11月18日	11月18日	11月18日	11月18日	
				評価方法についての説明、添削課題第1回～第3回の学習方法						
				中間試験の学習方法						
単位認定試験			評価方法							
中間(11月)・期末(1月) 試験あり (試験範囲、時間割は2週間前に発表)			試験、添削課題、他提出物や平素の学習態度などを総合的に判断し、5段階評価する。なお、観点別評価について ＜知識技能＞試験、添削課題 ＜思考力・判断力・表現力＞試験、添削課題 ＜主体的に学習に取り組む態度＞添削課題、ノート・ワーク提出で評価する							

令和8年度 通信教育実施計画

学年	学期	コース	教科	科目	単位数
3	後期	週4・2	保健体育	体育	1

教科書

現代高等保健体育（大修館書店）

	學習目標
--	------

体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成することを目指す。

- (1) 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
- (2) 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- (3) 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

添削課題	回数	べ切	学習のねらい、内容など	備考 教科書ページ等
	第1回	11月12日	ライフスタイルに応じたスポーツ	P186～189

面接指導日	クラス	1組	2組	3組	4組	5組	6組	7組	8組	
	第1回	10/9(金)	10/9(金)	10/9(金)	10/9(金)	10/9(金)	10/9(金)	10/9(金)	10/9(金)	
		体づくり運動								
	第2回	10/9(金)	10/9(金)	10/9(金)	10/9(金)	10/9(金)	10/9(金)	10/9(金)	10/9(金)	
		体づくり運動								
	第3回	10/9(金)	10/9(金)	10/9(金)	10/9(金)	10/9(金)	10/9(金)	10/9(金)	10/9(金)	
		体づくり運動								
	第4回	11/4(水)	11/4(水)	11/4(水)	11/4(水)	11/13(金)	11/13(金)	11/13(金)	10/22(木)	
		球技								
	第5回	11/4(水)	11/4(水)	11/4(水)	11/4(水)	11/13(金)	11/13(金)	11/13(金)	10/22(木)	
球技										

単位認定試験	評価方法
	添削課題や面接指導日の学習態度（意欲、身だしなみなど）、授業内の試技を総合的に判断し、5段階評価する。なお、観点別評価についても添削課題および平常点における各観点の到達度から評価する。

令和8年度 通信教育実施計画													
学年		学期		コース		教科			科目			単位数	
3		後期		週4日		美術			美術Ⅰ			2	
教科書													
高校生の美術1													
学習目標													
基礎をはじめ、幅広い創作活動を行うことで、美的体験を重ね、生活や社会などで生かせる知識技能を養う。 具体的には、対象や事象をとらえる視点や造形的な良さを発見し、表現に生かせる力や生涯にわたり美術を愛好する心情、豊かな社会生活を創造する力を育む。													
添削課題	回数	ページ	学習のねらい、内容など								備考 教科書ページ		
	第1回	11/12	美の秩序 構成美について学ぶ シンメトリー(対称)、リピテーション(繰り返し)、グラデーション(階調)、アクセント(強調)、コントラスト(対比・対立)								教科書p150、 p151		
	第2回	11/12	鉛筆デッサン 手 鉛筆の芯の固さと濃度の違い、デッサンの基本的な使い方、手が持つ表現の広がり(仏像などの手の形を学習)、陰影の付け方など。								教科書p132～ p135		
	第3回	11/12	三原色の学習 色光と色料の三原色について学ぶ。シアン、イエロー、マゼンタの三色を用いて三原色のチャートを作成する。								教科書p153		
	第4回	1/18	三原色を用いて着彩を行う 第3回で学習したことを踏まえて、色料の三原色のみで下絵に着彩する。一つの画材でさまざまな画風での表現を通して、三原色で自分の作りたい色を的確に作る力を養う。								教科書p136～ p142		
	第5回	1/18	キャラクターデザイン キャラクターの持つ独創的な特徴や役割などを考え、形や色彩を生かして目的に合ったキャラクターをデザインする。								教科書p80、p81		
	第6回	1/18	日本美術 扇絵の制作 表現の方法や形体、題材、飾られている空間などのイメージに着目し、日本美術に親しむ。また、その知識を生かして扇絵を制作する。								教科書p26～p31		
面接指導日	クラス	1組	2組	3組	4組	5組	6組	7組					
	第1回	10/1	10/5	10/1	10/6	10/6	10/6	10/5					
		第1回レポートの実施											
	第2回	10/20	10/19	10/21	10/20	10/20	10/20	10/19					
		第1回レポートの実施											
	第3回	10/22	10/21	10/22	10/21	10/21	10/21	10/20					
		第2回レポートの実施											
	第4回	10/27	10/26	10/28	10/27	10/27	10/27	10/26					
		第2回レポートの実施											
	第5回	11/5	10/28	11/5	10/28	10/28	10/28	10/27					
第2回レポートの実施													
第6回	11/10	11/2	11/11	11/10	11/10	11/10	11/2						
	第2回レポートの実施												
第7回	11/12	11/9	11/12	11/11	11/11	11/11	11/9						
	第3回レポートの実施												
第8回	11/17	11/18	11/18	11/17	11/18	11/18	11/17						
	第5回レポートの実施												
単位認定試験				評価方法									
無し				平素の学習への取り組み、提出されたレポートの完成度(技術力・理解力・表現力・独創性)などを総合的に評価する。									

令和8年度 通信教育実施計画					
学年	学期	コース	教科	科目	単位数
3	後期	週2日	美術	美術Ⅰ	2
教科書					
高校生の美術1					
学習目標					
基礎をはじめ、幅広い創作活動を行うことで、美的体験を重ね、生活や社会などで生かせる知識技能を養う。 具体的には、対象や事象をとらえる視点や造形的な良さを発見し、表現に生かせる力や生涯にわたり美術を愛好する心情、豊かな社会生活を創造する力を育む。					
添削課題	回数	〆切	学習のねらい、内容など		備考 教科書ページ
	第1回	11/12	さまざまな描画材 絵を描くための描画材の種類について学習し、それぞれの性質や特徴を理解し、特に制作で用いることが多い色鉛筆の幅広い表現方法を学習する。		教科書p130、 p131
	第2回	11/12	美の秩序 構成美について学ぶ シンメトリー(対称)、リピティション(繰り返し)、グラデーション(階調)、アクセント(強調)		教科書p150、 p151
	第3回	11/12	三原色の学習 色光と色料の三原色について学ぶ。シアン、イエロー、マゼンタの三色を用いて三原色のチャートを作成する。		教科書p.153
	第4回	1/18	三原色を用いて着色を行う 第3回で学習したことを踏まえて、色料の三原色のみで絵を描かく。三原色で自分の作りたい色を的確に作る力を養う。		教科書p153、 p6～p9
	第5回	1/18	手のデッサン 鉛筆の芯の固さによる濃度や表現の違い、陰影や質感などの表現方法を学ぶ。 3H、HB、2Bの各鉛筆を用いる。		教科書p132～ p135
	第6回	1/18	手のデッサン 鉛筆の芯の固さによる濃度や表現の違い、陰影や質感などの表現方法を学ぶ。 3H、HB、2Bの各鉛筆を用いる。		教科書p132～ p135
面接指導日	クラス	8組			
	第1回	10月7日			
		第1回レポートの実施			
	第2回	10月14日			
		第2回レポートの実施			
	第3回	10月21日			
		第3回レポートの実施			
	第4回	10月28日			
		第4回レポートの実施			
第5回	11月11日				
	第4回レポートの実施				
第6回	11月18日				
	第5、6回レポートの実施				
第7回	12月2日				
	第5、6回レポートの実施				
第8回	12月9日				
	第5、6回レポートの実施				
単位認定試験		評価方法			
無し		平素の学習への取り組み、提出されたレポートの完成度(技術力・理解力・表現力・独創性)などを総合的に評価する。			

令和8年度 通信教育実施計画												
学年		学期		コース		教科			科目			単位数
3		後期		週4・2日		外国語			英語コミュニケーションⅡ			2
教科書												
All Aboard!! English Communication Ⅱ（東京書籍）												
学習目標												
日常的・社会的な話題について、一定の支援を活用すれば、 1. 必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 2. 必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 3. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。 4. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。 5. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。												
添削課題	回数	ページ	学習のねらい、内容など								備考 教科書ページ等	
	第1回	11/12	Lesson 10の新出単語、語句を理解する								Lesson 10	
	第2回	11/12	本文を読み、分詞構文を用いた文の形・意味を理解する。また、ナイチンゲールの生涯について学んだり、人を助ける職業について調べた事柄を整理・理解している。								Lesson 10	
	第3回	11/12	「分詞構文」を用いた文の形・意味・用法を理解し、指示された英作文を作成する。								Lesson 10	
	第4回	1/18	Lesson 7の新出単語、語句を理解する								Lesson 7 Lesson 8(文法)	
	第5回	1/18	関係副詞where, whenを用いた文の形・意味を理解している。また、世界中で壁画を描く活動について学んだり、外国の人々と交流する方法について調べた事柄を整理・理解している。								Lesson 7 Lesson 8(文法)	
	第6回	1/18	「関係副詞」、「知覚動詞 (see,hear,feelなど)を用いた文の形・意味・用法を理解し、指示された英作文を作成する。								Lesson 7 Lesson 8(文法)	
面接指導日	クラス	1組	2組	3組	4組	5組	6組	7組	8組			
	第1回	10/5	10/1	10/5	10/1	10/1	10/5	10/1	10/7			
		音読指導、単語・熟語確認。本文読解。文法指導等										
	第2回	10/6	10/5	10/6	10/5	10/5	10/6	10/5	10/7			
		音読指導、単語・熟語確認。本文読解。文法指導等										
	第3回	10/7	10/6	10/7	10/7	10/7	10/7	10/7	10/14			
		音読指導、単語・熟語確認。本文読解。文法指導等										
	第4回	10/13	10/8	10/13	10/8	10/8	10/13	10/8	10/14			
		音読指導、単語・熟語確認。本文読解。文法指導等										
	第5回	10/14	10/13	10/14	10/14	10/14	10/14	10/14	10/21			
		音読指導、単語・熟語確認。本文読解。文法指導等										
	第6回	10/19	10/19	10/19	10/19	10/19	10/19	10/19	10/21			
		音読指導、単語・熟語確認。本文読解。文法指導等										
	第7回	10/20	10/20	10/20	10/21	10/21	10/20	10/21	10/28			
		音読指導、単語・熟語確認。本文読解。文法指導等										
	第8回	11/18	11/17	11/18	11/18	11/18	11/18	11/18	11/18			
音読指導、単語・熟語確認。本文読解。文法指導等												
単位認定試験				評価方法								
中間(11月)・期末(2月) 試験あり (試験範囲、時間割は2週間前に発表)				試験、音読、添削課題、他提出物や平素の学習態度などを総合的に判断し、5段階評価する。なお、観点別評価について＜知識技能＞試験、添削課題、音読など＜思考力・判断力・表現力＞試験、添削課題にある＋α問題など＜主体的に学習に取り組む態度＞学習に取り組む、ノートやワークブック、各種成果物を総合的に評価								

令和8年度 通信教育実施計画					
学年	学期	コース	教科	科目	単位数
無	後期	週4・週2日	国語	言語文化（再履修/特別補充）	2
教科書					
高等学校 言語文化（第一学習社）					
学習目標					
(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。					
(2) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。					
添削課題	回数	※切	学習のねらい、内容など		備考 教科書ページ等
	第1回	別途指示	児のそら寝 古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを知る。		12～13ページ
	第2回	別途指示	伊勢物語 東下り① 話の中で和歌が果たしている役割を押さえ、歌物語の特徴と読み解き方を理解する。		28～30ページ
	第3回	別途指示	伊勢物語 東下り② 話の中で和歌が果たしている役割を押さえ、歌物語の特徴と読み解き方を理解する。		28～30ページ
	第4回	別途指示	狐借虎威 漢文の訓読に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来することを知る。		164～165ページ
	第5回	別途指示	先従隗始① 戦国時代を背景とした国の状況を知るとともに、郭隗が用いた論理の巧みさを読み解く。		174～175ページ
	第6回	別途指示	先従隗始② 戦国時代を背景とした国の状況を知るとともに、郭隗が用いた論理の巧みさを読み解く。		174～175ページ
面接指導日	第1回	別途指示	学習の進め方、添削課題の取り組み（進捗状況の確認）		
	第2回	別途指示	添削課題の取り組み（進捗状況の確認）、試験の取り組みについて		
単位認定試験			評価方法		
期末試験あり			試験、添削課題、学習態度などを総合的に判断し、5段階評価する。なお、観点別評価については試験、添削課題より評価する。		

令和8年度 通信教育実施計画					
学年	学期	コース	教科	科目	単位数
無	後期	週4・2日	地理歴史	地理総合	2
教科書					
地理総合（東京書籍）					
学習目標					
地図や統計などを活用して情報を読み解き、多様な地域の理解を深める。また、様々な地域や地球環境について学ぶことで、地域や環境の特徴を多面的・多角的に捉える力を育てる。					
添削課題	回数	×切	学習のねらい、内容など		備考 教科書ページ等
	第1回	別途指示	第1編 地図や情報システムでとらえる現代社会 地図、GIS、統計資料、グラフなどを活用して情報を読み解いたり、比較・分析する技能を身につける。		P7～52
	第2回	別途指示	第2編 第1章 人々の生活文化と多様な地理的環境 日本と世界の地域の特色を比較しながら、文化、自然、産業、生活様式の多様性や共通性を理解する。		P53～101
	第3回	別途指示	地域の特色を理解し、持続可能な観光や文化や自然を活かした都市の発展を考える。		教科書全ページ
	第4回	別途指示	第2編 第2章 さまざまな地球的課題と国際協力 地球的課題（気候変動・資源・人口問題など）や地域的課題（災害・少子高齢化など）に関心をもち、持続可能な社会づくりに主体的に関わろうとする態度を養う。		P117～172
	第5回	別途指示	第3編 持続可能な地域づくりと私たち 自然災害について学ぶことで、地理的仕組みを理解し、自ら進んで行動する防災意識を育む。		P173～204
	第6回	別途指示	SDGsや防災について学ぶことで、主体的に考え課題解決に向けた思考力・判断力・表現力を養う。		教科書全ページ
面接指導日	回数	1組			
	第1回	学習の進め方、添削課題の取り組み（進捗状況の確認）、試験の取り組み方について			
	第2回	添削課題の取り組み（進捗状況の確認）、試験の取り組み方について			
単位認定試験		評価方法			
期末試験あり （試験範囲、時間割は事前発表）		試験、添削課題、他提出物や平素の学習態度などを総合的に判断し、5段階評価する。なお、観点別評価について＜知識・技能＞試験、添削課題など＜思考力・判断力・表現力＞試験、添削課題など＜主体的に学習に取り組む態度＞学習に取り組む、ノートや各種成果物を総合的に評価する。			

令和 8 年度 通信教育実施計画

教科書

【改訂版】新数学Ⅰ（東京書籍）

學習目標	
-------------	--

(1) 図形と計量、2次関数についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

(1) 図形と計量、2次関数についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

- | | 回数 | ページ | 学習のねらい、内容など | 備考
教科書ページ等 |
|--|----|-----|-------------|---------------|
|--|----|-----|-------------|---------------|

添削課題	第1回	11月12日	2章 2次関数 1節 2次関数とそのグラフ 1 関数 2 1次関数とそのグラフ 3 2次関数とそのグラフ	教科書P74～P81 【知識・技能】
	第2回	11月12日	4 グラフの平行移動	教科書P82～P85 【知識・技能】
	第3回	11月12日	5 $y = ax^2 + bx + c$ のグラフ 2節 2次関数の値の変化 1 2次関数の最大値・最小値	教科書P86～P87 教科書P92～P95 【知識・技能】
	第4回	1月18日	3章 三角比 1節 鋭角の三角比 2 タンジェント 3 サインとコサイン 4 三角比の利用	教科書P106～P110 【知識・技能】
	第5回	1月18日	4 三角比の利用	教科書P110～P113 【思考・判断・表現力】
	第6回	1月18日	5 三角比の相互関係 6 $90^\circ - A$ 2節 三角比の応用 1 三角形の面積 4 鈍角の三角比 5 三角比の相互関係 6 鈍角の三角比の利用 第1回～第5回の【主体的に学習に取り組む態度】を評価する問題	教科書P114～P117 教科書P122～P126 【知識・技能】 【主体的に学習に取り組む態度】

面 接 指 導 日	クラス	1組	2組	3組	4組	5組	6組	7組	特別授業	
	第1回								別途指示	
	評価方法についての説明、添削課題第1回～第3回の学習方法									
第2回									別途指示	
中間試験の学習方法										

単位認定試験	評価方法
中間(11月)・期末(2月) 試験あり (試験範囲、時間割は2週間前に発表)	試験、添削課題、他提出物や平素の学習態度などを総合的に判断し、5段階評価する。なお、観点別評価について <知識技能>試験、添削課題 <思考力・判断力・表現力>試験、添削課題 <主体的に学習に取り組む態度>添削課題、ノート・ワーク提出で評価する

令和 8 年度 通信教育実施計画						
学年	学期	コース	教科	科目	単位数	
3	後期	特別授業	数学	数学Ⅱ	2	
教科書				メディア利用		
新数学Ⅱ（東京書籍）				なし		
学習目標						
数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 指数関数・対数関数の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (2) 関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。 (3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。						
添 削 課 題	回数	締切	学習のねらい、内容など		放送視聴 対応教科書ページ	NHK高校講座 (参照)
	第1回	12月8日	1 節 指数関数 1. 整数の指数		P86～P87	NHK高校講座 第25回 指数の拡張
	第2回	12月 8 日	2. 累乗根		P88～P89	NHK高校講座 第26回 累乗根
	第3回	12月 8 日	3. 分数の指数 4. 指数関数とそのグラフ 5. 指数関数の利用		P90～P95	NHK高校講座 第27回 指数関数とその グラフ
	第4回	12月24日	2 節 対数関数 1. 対数		P96～P97	NHK高校講座 第28回 対数の値
	第5回	12月24日	2. 対数の性質		P98～P99	NHK高校講座 第29回 対数の性質
	第6回	12月24日	3. 対数関数とそのグラフ 4. 常用対数		P100～P103	NHK高校講座 第30回 対数関数とそのグラフ 第31回 常用対数
面 接 指 導 日	回数	学習のねらい、内容など				日程
	第1回	学習の進め方、添削課題の取り組み方について説明する。				別途指示
	第2回	・ 添削課題の補足 ・ 試験への取り組み方について説明する。				別途指示
単位認定試験		評価方法・学習のポイントなど				
期末試験（7月） （試験範囲、時間割は2週間 前に発表）		試験、添削課題、他提出物や平素の学習態度などを総合的に判断し、5段階評価する。 なお、観点別評価について ＜知識技能＞試験、添削課題 ＜思考力・判断力・表現力＞試験、添削課題 ＜主体的に学習に取り組む態度＞添削課題、ノート・ワーク提出 で評価する。				

令和 8 年度 通信教育実施計画

学年	学期	コース	教科	科目	単位数
無	後期	週 4・週 2 特別補充・再履修	理科	科学と人間生活	2
教科書					
数研出版 改訂版 科学と人間生活 （104 数研 科人/104-901）					
学習目標					
・自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付ける。 ・観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて科学的に探究する力を養う。 ・自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。					
添 削 課 題	回数	ページ	学習のねらい、内容など		備考 教科書ページ等
	第 1 回	別途指示します	1 編 物質の科学 1 章 材料とその再利用 金属の性質とその再利用、プラスチックの性質とその再利用		P.14-41
	第 2 回		2 編 生命の科学 2 章 微生物とその利用 身のまわりの微生物、生態系における微生物のはたらき、窒素と微生物のはたらき、水の浄化と微生物を用いた環境の浄化		P.92-115
	第 3 回		3 編 光や熱の科学 1 章 光の性質とその利用 光の進み方とその基本的な性質、光の波としての性質、目に見える光と色の見え方、目に見えない光とその利用		P.116-139
	第 4 回		3 編 光や熱の科学 2 章 熱の性質とその利用 原子や分子の熱運動、熱容量と比熱、熱の伝わり方、熱エネルギーから仕事への変換、エネルギーの利用と私たちの暮らし		P.140-163
	第 5 回		4 編 宇宙や地球の科学 2 章 自然景観と自然災害 プレート運動と地表の景観、山地や低地のでき方、火山がつくる景観、地震による災害ほか自然災害と防災		P.188-211
	第 6 回		4 編 宇宙や地球の科学 1 章 太陽と地球 太陽と月がもたらすリズム、太陽が動かす大気と水		P.164-187
面 接 指 導 日	クラス	特別補充・再履修	※日程は別途指示します。		
	第 1 回				
		学習の進め方、添削課題の取り組み、試験の取り組み方について			
	第 2 回				
		添削課題の取り組み（進捗状況の確認）、添削課題の取り組み方についての確認			
	第 3 回				
		実験① アルコール発酵			
	第 4 回				
		実験① 振り返り			
	第 5 回				
	実験② 簡易分光器の作成				
第 6 回					
	実験③ 簡易分光器によるスペクトルの観察（連続スペクトル、線スペクトル）				
第 7 回					
	実験②、③振り返り				
第 8 回					
	試験の取り組み方について				
単位認定試験			評価方法		
期末（2 月） 試験あり （試験範囲、時間割は 2 週間前に発表）			試験、添削課題、他提出物や実験への取り組み、平常の学習態度などを総合的に判断し 5 段階評価する。 知識技能：試験、添削課題 思考力・判断力・表現力：試験、添削課題にある＋α問題など 主体的に学習に取り組む態度：実験への取り組みの様子、ノートや各種成果物を総合的に評価		

令和8年度 通信教育実施計画											
学年	学期	コース	教科					科目	単位数		
3	後期	週4・2日	保健体育					体育	2		
教科書											
現代高等保健体育（大修館書店）											
学習目標											
体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成することを目指す。											
(1)各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。											
(2)運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。											
(3)生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。											
添削課題	回数	べ切	学習のねらい、内容など							備考 教科書ページ等	
	第1回	11月12日	ライフスタイルに応じたスポーツ							P186～189	
	第2回	11月12日	スポーツを推進する取り組み							P190～193	
面接指導日	クラス	1組	2組	3組	4組	5組	6組	7組	8組		
	第1回	10/9(金)	10/9(金)	10/9(金)	10/9(金)	10/9(金)	10/9(金)	10/9(金)	10/9(金)		
		体づくり運動									
	第2回	10/9(金)	10/9(金)	10/9(金)	10/9(金)	10/9(金)	10/9(金)	10/9(金)	10/9(金)		
		体づくり運動									
	第3回	10/9(金)	10/9(金)	10/9(金)	10/9(金)	10/9(金)	10/9(金)	10/9(金)	10/9(金)		
		体づくり運動									
	第4回	11/4(水)	11/4(水)	11/4(水)	11/4(水)	11/13(金)	11/13(金)	11/13(金)	10/22(木)		
		球技									
	第5回	11/4(水)	11/4(水)	11/4(水)	11/4(水)	11/13(金)	11/13(金)	11/13(金)	10/22(木)		
	球技										
	第6回	別途定める									
		陸上競技【長距離】計測									
	第7回	別途定める									
		マット運動									
	第8回	別途定める									
		マット運動									
	第9回	別途定める									
		マット運動									
	第10回	別途定める									
		マット運動									
単位認定試験		評価方法									
		添削課題や面接指導日の学習態度（意欲、身だしなみなど）、授業内の試技を総合的に判断し、5段階評価する。なお、観点別評価についても添削課題および平常点における各観点の到達度から評価する。 【実技評価】 ・陸上競技については長距離走のタイム ・マット運動については倒立前転からの連続技									

令和8年度 通信教育実施計画					
学年	学期	コース	教科	科目	単位数
無	後期	週4・2日	外国語	英語コミュニケーションⅠ（特別補充/再履修）	2
教科書					
All Aboard!! English Communication Ⅰ Revised（東京書籍）					
学習目標					
日常的・社会的な話題について多くの支援を活用すれば、 1. 必要な情報を聞き取り、話し手の糸を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 2. 必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 3. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。 4. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理的に注意して話して伝えることができる。 5. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理的に注意して文章を書いて伝えることができる。					
添 削 課 題	回数	締切	学習のねらい、内容など		備考 教科書ページ等
	第1回	別途指示	Lesson 5,8の新出単語、語句を理解する		Lesson 5 Lesson 8
	第2回	別途指示	動名詞（動詞の-ing形）を用いた文の形・意味・用法を理解している。また、本文を読み「空気エンジン」を開発するユニークな工業高校の活動について理解している。		Lesson 5 Lesson 8
	第3回	別途指示	「動名詞」を用いた文の形・意味・用法を理解し、指示された英作文を作成する。		Lesson 5 Lesson 8
	第4回	別途指示	Lesson 9の新出単語、語句を理解する		Lesson 9 Lesson 6(文法)
	第5回	別途指示	受け身（be動詞＋過去分詞）、〈名詞を後ろから説明する分詞〉を用いた文の形・意味・用法を理解している。また、ゴーストギアについて学んだ内容や、地域の環境問題とそれに対する取り組みについて理解している。		Lesson 9 Lesson 6(文法)
	第6回	別途指示	受け身（be動詞＋過去分詞）、〈名詞を後ろから説明する分詞〉を用いた文の形・意味・用法を理解し、指示された英作文を作成する。		Lesson 9 Lesson 6(文法)
面 接 指 導 日	第1回	別途指示	学習の進め方、添削課題の取り組み、試験の取り組み方について		
	第2回	別途指示	音読指導、単語・熟語確認、本文読解、文法指導等		
	第3回	別途指示	音読指導、単語・熟語確認、本文読解、文法指導等		
	第4回	別途指示	音読指導、単語・熟語確認、本文読解、文法指導等		
	第5回	別途指示	音読指導、単語・熟語確認、本文読解、文法指導等		
	第6回	別途指示	音読指導、単語・熟語確認、本文読解、文法指導等		
	第7回	別途指示	音読指導、単語・熟語確認、本文読解、文法指導等		
	第8回	別途指示	添削課題の取り組み（進捗状況の確認）、試験の取り組み方について		
単位認定試験		評価方法			
期末（8月）試験あり （試験範囲、時間割は2週間前に発表）		試験、音読、添削課題、他提出物や平素の学習態度などを総合的に判断し、5段階評価する。なお、観点別評価について＜知識技能＞試験、添削課題、音読など＜思考力・判断力・表現力＞試験、添削課題にある＋α問題など＜主体的に学習に取り組み態度＞学習に取り組み、ノートやワークブック、各種成果物を総合的に評価			

令和8年度 通信教育実施計画					
学年	学期	コース	教科	科目	単位数
無	後期	週4・2日	情報	情報Ⅰ（特別補充）	2
教科書					
新編情報Ⅰ（東京書籍）					
学習目標					
情報に関する科学的な学び・考え方を重視し、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用するための知識および技能を身に付け、実際に活用する力を養うとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。					
添削課題	回数	べ切	学習のねらい、内容など		備考 教科書ページ等
	第1回	別途指示	情報の特性やメディアの特徴、問題解決における情報技術の活用を学ぶ。情報社会のモラルや法規、個人情報の扱い、SNSの危険性を理解し、著作権や引用のルールを習得。さらに、新しい情報技術の進展やサイバー犯罪、健康への影響について学習する。		pp.8-27
	第2回	別途指示	メディアの変遷や特性、ソーシャルメディアやネットコミュニケーションの特徴を学ぶ。デジタルデータの仕組みやメリット・デメリット、情報のデジタル表現や圧縮を理解する。情報デザインやユニバーサルデザイン、ユーザインタフェースについて学習する。		pp.36-55
	第3回	別途指示	コンピュータの基本構成やハードウェア・ソフトウェアの仕組みを理解し、演算や処理回路について学ぶ。さらに、アルゴリズムの必要性や表現方法、プログラムの作成や制御構造について学習する。		pp.64-83
	第4回	別途指示	情報通信ネットワークの基礎、プロトコル（TCP/IP）を学ぶ。ネットワークハードウェアやサーバ、IPアドレス、DNSの役割を理解し、インターネットやWWW、電子メールについて学習する。さらに、情報セキュリティの確保方法やデータ・データベースの役割と活用例を学ぶ。		pp.92-111
面接指導日	第1回	日付	別途指示		
		学習の進め方、添削課題の取り組み、試験の取り組み方について			
	第2回	日付	別途指示		
		文書処理ソフトウェアの操作。文書処理ソフトについて、書式の設定や配置の変更など、基本的な操作を学習する。			
第3回	日付	別途指示			
	文書処理ソフトウェアで図、表、画像を利用する方法を学習する。ディレクトリやファイルの操作について学習する。				
第4回	日付	別途指示			
	表計算ソフトウェアで書式の設定や配置の変更など基本的な操作を学習する。数式の利用、関数の利用を学習する。				
単位認定試験			評価方法		
なし			添削課題や面接指導日・学習支援日の学習態度などを総合的に判断し、5段階評価する。なお、観点別評価については添削課題における各観点の到達度や任意課題から評価する。		

令和8年度 通信教育実施計画					
学年	学期	コース	教科	科目	単位数
無	後期	週4・2日	家庭	家庭総合（再履修/特別授業）	2
教科書					
高等学校 家庭総合 持続可能な未来をつくる（第一学習社）					
学習目標					
生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習を通して、様々な人々と協働し、よい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。（１）人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。（２）家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。（３）様々な人々と協働し、よい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。					
添削課題	回数	学習のねらい、内容など		備考 教科書ページ等	
	第1回	11月25日	第5章 食生活をつくる 【知識・技能】	教科書p.83～p.148	
	第2回	11月25日	第8章 経済生活をつくる 【知識・技能】	教科書p.217～p.238	
	第3回	11月26日	第5・8章の内容（食生活・経済生活）の知識や技術を活用し問題解決や自己表現をする 【思考力・判断力・表現力】	教科書p.83～p.148 教科書p.217～p.238	
	第4回	12月15日	第7章の内容（衣生活）の知識技能を活かして実践する活動を行う 【主体的】	教科書p.149～p.194	
面接指導日	回数	学習のねらい、内容など			日程
	第1回	家庭総合について、科目の概要、添削課題や学習の進め方について説明する。 期末試験に向けて、要点や学習の進め方について説明する。			11月25日
	第2回	第7章 衣生活をつくる 被服製作実習を通して、日常生活に役立つ技術を習得する。			11月25日
	第3回	第7章 衣生活をつくる 被服製作実習を通して、日常生活に役立つ技術を習得する。			11月26日
	第4回	第5章：食生活をつくる（食物） 栄養素の学習を通して、健康的な食事について学習する。 期末試験に向けて、要点や学習の進め方について説明する。			12月15日
単位認定試験		評価方法			
中間(11月)・期末(2月) 試験あり (試験範囲、時間割は2週間前に発表)		試験、小テスト、添削課題、他提出物や平素の学習態度などを総合的に判断し、5段階評価する。なお、観点別評価について＜知識技能＞試験、添削課題、小テストなど＜思考力・判断力・表現力＞試験、添削課題にある＋α問題など＜主体的に学習に取り組む態度＞学習に取り組む、ノートや各種成果物を総合的に評価			

令和8年度 通信教育実施計画

学年	学期	コース	教科	科目	単位数
無	後期	週4・2日	学校設定教科・実践行動学	プレゼンテーションⅠ	3

教科書

「好き」を言語化する技術（三宅香帆著 ディスカヴァー・トゥエンティワン）

学習目標

グレードⅠ 表現に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、表現力を伸ばす

添削課題	回数	×切	学習のねらい、内容など	備考 教科書ページ等
	第1回	12/14	対象を細分化してみる 他者に自分の「推し」の何をプレゼンするのか	30～37ページ
	第2回	12/14	対象を細分化してみる 他者に自分の「推し」の何をプレゼンするのか	43～64ページ 73～107ページ
	第3回	12/24	他者に自分の「推し」をプレゼンするための工夫とは	110～137ページ
	第4回	12/24	他者に自分の「推し」をプレゼンするための発表原稿を作る	138～203ページ
	第5回	12/31	他者のプレゼンを評価し、改善点を考える	204～222ページ
	第6回	1/18	自身のプレゼンの内容の精査を行い、完成形を作る	204～222ページ
	第6回			
面接指導日	11/24	①学習のためのガイダンス		
	11/24	②気持ち、状態を細分化する		
	11/25	③他人に伝えるための力とは		
	12/14	④プレゼンするための原稿を整える		
	12/24	⑤実際にプレゼンを行う		
	12/24	⑥実際にプレゼンを行う		